

公表: 令和3年10月1日

事業所名 ろぐ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			移動式パーティション 等も利用しながら適切 なスペース確保に努 めている。	高学年児童が多くなった場合 の検討が出てくると思われ る。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				コロナ禍であるが幸い適切な 配置ができていますが、今後も 見据え、職員の増員も考えて いる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか			○		賃貸物件であるため、設備等 に制約があり、不便な点也多 い。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員会議で個々の振り 返りと共に他スタッフへ も評言できるような雰 囲気作りに努めてい る。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			保護者との連絡は日頃 より連絡帳やメール等 により密にとれているた め、問題があった際す ぐに対応できる。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか		○	○		事業所内掲示はしているが、 インターネット上では公表して いないため、今後していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか			○		第三者評価を行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか			○		コロナ禍において外部研修や 多人数での会議等も控えて いたため、今後どのようにし てくべきか検討中
適切な支 援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校生活や家庭での 様子等を取り入れ個々 にあった計画を作成し ている。	学校での様子が保護者経由 でしか聞けず、学校との連携 が難しい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか			○		アセスメントツールの利用は していないため、今後取り入 れていきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			前月には翌月利用日 がわかるため、活動内 容について職員間で時 間をかけて考えている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			利用児の状況により変 更できるような体制を とっている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			学童や預かりではない という認識を持ち支援 内容の工夫はしてい る。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか		○			利用児童も少なく、学年も違 うため集団活動が難しい。小 グループでの活動の内容は 臨機応変に対応できるように していきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか		○			一日の流れ(分担)をホワイト ボードにて確認できている が、認識の違いもある。

関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終了時だけでなく、常に利用児や支援について話し合える関係性ができている。	利用児の様子について話すことが多いため、次回の支援に繋がらないこともある。今後要検討
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録については保護者用、職員用とわけており、詳細に記入することを徹底している。	書き方等の研修が必要。(記録を読んだだけで全てが理解できるように)
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		人数が少ないため、日々利用児についての意見交換をしている。(できている。)	記録に残すこともしていくべきだと思っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○			ガイドラインというより個々の状態を重視しているため、職員間でガイドライン共有の徹底に努めたい。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○		ほとんどがセルフプランであり、また、相談支援事業が関わっていてもモニタリングがメールのため、会議自体ない。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校行事や下校時間については保護者の方から毎月連絡。変更についても今のところ問題ない。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		幼稚園、保育園、他事業所との情報の共有はない。どのようにしていけばいいのか模索中である。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		今後の課題
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		今後の課題
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後の課題
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との連絡は連絡帳、メール等で密にとれているが、今後事業所LINEも活用していきたい。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		今後の課題

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○			コロナ禍により面談等に時間をかけていない。(密になるため)今後、最善の方法を検討していく必要あり。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者との連絡は連絡帳、メール等で密にとれている。	今後、事業所LINEも取り入れていきたい。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後の課題
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			現時点で事例なし
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者との連絡は連絡帳、メール等で密にとれている。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後の課題
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			職員には常に目にできるようにファイリングしているが、保護者への周知が十分ではない。今後周知していく必要あり。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			室内での避難訓練は活動の中で行っているが、定期的な訓練としては行っていない。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか					該当者なし
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			現時点で事例なし

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。